

8. 景觀

札内川ダム周辺の景観の概況

札内川ダム周辺の状況

H20 (2008) . 9月撮影



札内川ヒュッテからの眺望
(現在、土砂崩落のため通行止め)

H30 (2018) . 10. 3撮影



ダム見学者ルートからの眺望

H30 (2018) . 10. 3撮影



ダム下流広場からの眺望



堤頂展望広場からの眺望

H30 (2018) . 10. 3撮影



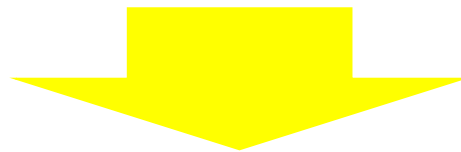
ダム湖方向



下流方向

ダム周辺の景観の特徴

- 札内川ダム上流域は、日高山脈襟裳国定公園内の良好な自然に囲まれており、谷が狭く湾曲した形状のため、急峻な山並みの稜線とダム湖や構造物が融合した景観が特徴的である。
- 札内川ダム周辺には、アカトドマツミズナラ群集を主体とする針広混交林によって占められ、下流部にはケショウヤナギを主体としたヤナギ林が分布する。
- ダムサイト右岸は、来訪者が立ち寄る小さな展望スペースとなっており、ダム下流は広場整備、ダム湖上流端には「札内川ヒュッテ」が整備されている。（現在、雪崩・土砂崩落のため通行止め）



地域の景観資源

「急峻な地形に囲まれた、自然豊かなダム湖景観」

視点場の選定



視点場名	状況
①ダム下流 広場	<ul style="list-style-type: none"> ダムより下流2km程度から分岐しアクセスする。 ダム下流に広がる園地よりダムを正面から見ることができる。 駐車場、トイレ、あずまや、広場などが整備。
②ダム見学 者ルート	<ul style="list-style-type: none"> 下流広場から堤体内への入り口に続く遊歩道。ダムを至近で俯瞰する眺望は迫力がある。
③堤頂展望 広場	<ul style="list-style-type: none"> 堤頂の右岸側にわずかな駐車スペースと看板があり、徒歩で堤頂から眺望できる。
④札内川 ヒュッテ	<ul style="list-style-type: none"> 湖岸道路の突き当たりとなり、最上流部の駐車場。登山者のためのヒュッテが整備されているほか、「またたび橋」が至近となる。(現在、土砂崩落のため通行止め)

視点場及び眺望景観の状況①

①ダム下流広場

H30(2018).10.3撮影



ははこ橋からの視点場

H30(2018).10.3撮影



ははこ橋からの眺望

- ダム下流右岸に整備された広場内駐車場より、ダムを正面より眺めることができる。
- 手前には整備された園地。
- 視点場となる駐車場以外には四阿、トイレ等が整備されている。



四阿

H30(2018).10.3撮影

②ダム見学者ルート

H30(2018).10.3撮影



ギャラリー入口の視点場

H30(2018).10.3撮影



ギャラリー入口からの眺望



トイレ

- 下流広場から堤体内のダムギャラリー入口へと続く遊歩道から、ダムを至近から眺めることができる。
- 視点場となるダムギャラリー入口付近は、構造物の集合体に囲まれる。

視点場及び眺望景観の状況②

③堤頂展望広場

H30(2018).10.3撮影



H30(2018).10.3撮影



H30(2018).10.3撮影



- 堤頂右岸展望広場から、ダム湖方向、ダム下流方向を眺めることができる。
- ダム湖方向には網場以外の構造物は見えない。
- ダム下流方向には札内川を眺められるほか、下流広場が見える。
- 視点場となる堤頂は、照明を埋め込み式にしている。

④札内川ヒュッテ(現在、土砂崩落のため通行止め)

H18(2006).9撮影



H20(2008).9撮影



H20(2008).9撮影



- ダム湖上流に位置する駐車場から、ダム湖を眺めることができる。
- ダム湖を臨む際には、湖畔道路へと繋がるアーチ橋(またたび橋)を至近に見ることができる。
- 視点場となる駐車場には、登山者のためのヒュッテが整備されている。

視点場毎の景観評価

①ダム下流広場



②堤頂展望広場

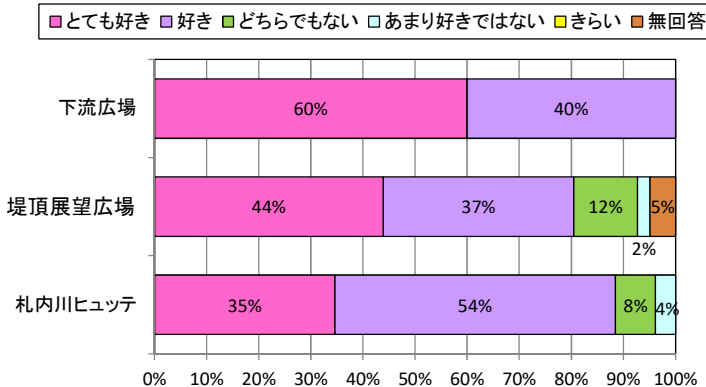


③札内川ヒュッテ



被験者の景観や雰囲気に対する評価及び意見

●「ここから見える景色や雰囲気は好きですか。」に対する回答の傾向



(資料：平成21年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」時における景観アンケート結果より)

●より良いダムの景観作りに向けた意見の内容

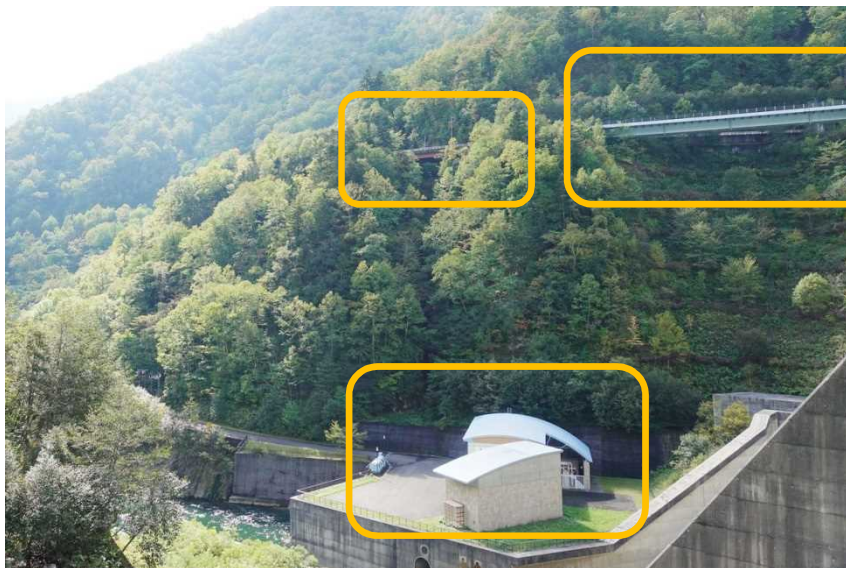
- ①下流広場
 - ・ 水源を守る意味でも禁煙の表示や、犬のフンの放置を禁止してほしい
 - ・ ダム下流公園までの案内板を設置してほしい 等
- ②堤頂展望広場
 - ・ 景観が良いので、この状態を維持して欲しい。
 - ・ ダム湖内の浮きの色を変える。
 - ・ 案内板をもっと分かりやすくして欲しい。撮影スポットの紹介があるといい。
 - ・ 特に施設の拡充は望まない。 等
- ③札内川ヒュッテ
 - ・ 橋の色を変えてはどうか。
 - ・ ゴミ等が捨てられないよう巡回するようにして欲しい。 等

ダム周辺施設の景観

- ・ 札内川ダム周辺の施設は周辺の自然と調和した塗装色となっている。
- ・ 取付道路の橋梁（薊橋）の上部工、放流施設の屋根、監視カメラ鉄塔の塗装色が周辺の類似施設と異なる色調となっている。

道道橋梁（茶系の塗装色）

取付道路の橋梁（薊橋）の
上部工塗装色が道道橋梁の
上部工塗装色と異なる



放流施設屋根の塗装色が管理
支所の屋根の塗装色（茶系）と
異なる

監視カメラ鉄塔の塗装色
が周辺の類似施設と
異なる



◆景観のまとめ

項目	まとめ
ダム及び周辺の景観評価	<ul style="list-style-type: none"> ●ダム及び周辺の景観・雰囲気は、約9割の利用者が好意的に捉えている。 ●ダム周辺の優れた自然景観が、来訪者の魅力となっており、現状の豊かな景観について、「今のままの景観がよい」が最も多く、約5割を占めており、周辺の自然環境に調和したダム景観として捉えられている。

◆今後の方針

項目	方針
フォローアップによる継続的な確認	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者は札内川ダム周辺の景観を良好なものとして捉えている。ダム湖利用実態調査の際に「景観」に関するアンケート調査を継続的に実施し、利用者の意見を把握する。
景観に配慮した施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ●中札内村では条例に基づき、「景観まちづくり委員会」を設置し、良好な景観形成に取り組んでいる。札内川ダムの管理施設、また、他事業者が管理する周辺施設について、今後の維持管理において景観に配慮した整備を行う。 ●経年劣化・雪崩による被災等で損傷が著しい周辺施設、現在利用されていない周辺施設は、施設管理者に今後の管理方法を確認する。 ●ダム及びダム周辺で統一したサイン整備、景観配慮を実施・継続するため、周辺施設の管理者と整備目的を共有した協力体制を構築し、サインシステム、景観デザインガイドラインの検討等を行う。
視点場のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ●視点場から良好な眺望が確保できるよう、関係機関と協力のうえ、除草や清掃等の維持管理を実施する。